

成績評価における客観的指標について

成績評価について

当該科目の5段階評価を4.0～0までの点数(GP)に置き換え、下記に定めるGPA(Grade Point Average)により成績を評価する。

GPA制度 (Grade Point Average)

欧米の大学や高校で一般的に使われている成績評価制度で、各科目の成績から特定の方式によって算出される学生の成績評価値のことで、履修登録した科目毎の5段階評価を4.0から0までの点数(GP=グレード・ポイント)に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値。

将来、海外の大学・大学院などへの留学並びに外資系企業や海外での就職の際に、海外でも通用する成績評価制度です。

GPAの評価対象科目

評価対象となる科目は、基本的には通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目、例えば「海外実学研修」や「オープン・キャンパス(学園祭)」など。

GPAの成績評価基準

出席時数	評価点数	評価グレード	合 否
3分の2以上	100～90点	S(4.0)	合 格
	89～80点	A(3.0)	
	79～70点	B(2.0)	
	69～60点	C(1.0)	
	59～0点	F(0.0)	不 合格

(注) 規定の出席率を満たし、S～C評価の場合は単位認定され(合格)、F評価は単位認定されない(不合格)。

GPAの計算方法(例)

(例) 7科目履修として

○○概論	(2単位)	95点	(S)	4.0(GP)
××演習	(4単位)	80点	(A)	3.0(GP)
△△研究	(2単位)	75点	(B)	2.0(GP)
□□学	(2単位)	93点	(S)	4.0(GP)
●●制作	(4単位)	76点	(B)	2.0(GP)
■●企画	(3単位)	63点	(C)	1.0(GP)
●●演習	(1単位)	57点	(F)	0.0(GP)

合 計 18単位

$$\frac{4.0 \times (2+2) \text{ 単位} + 3.0 \times (4) \text{ 単位} + 2.0 \times (2+4) \text{ 単位} + 1.0 \times (3) \text{ 単位}}{18 \text{ 単位}}$$

$$\text{GPA} = \frac{43 \text{ 単位}}{18 \text{ 単位}} \div \underline{2.39}$$